

仲間を思う心が奇跡を呼ぶ

頂点を決める大舞台で、何が勝敗を分けたのでしょうか。二連覇を果たしたロサンゼルス・ドジャースの原動力は、「**仲間を思い抜く心**」でした。

フレディ・フリーマンは、第七戦で同点弾を放ったミゲル・ロハスについて、「**けがを抱えながら戦う姿勢は必ず報われる**」と語りました。その言葉には、仲間の苦しみを知り、信じ続ける温かな眼差しが宿っています。

さらに彼は、前日に力を使い切った山本由伸が再び準備を始めた姿に胸を打たれ、「**その覚悟に応えたかった**」と振り返りました。

誰かの覚悟が、別の誰かの闘志に火をつける。この連鎖こそが「**献身**」の力です。自分の評価よりも、仲間のために力を尽くす姿は、見る者の心を震わせます。

あなたは仲間のために、どれだけ本気になれますか。誰かのために動くとき、人は想像以上の力を出せます。**利他の心こそ、眠っている可能性を解き放つ鍵**なのです。

今日の言霊：思いやりが力に

勝利の背景には、互いを深く信じ合う関係があります。

けがを抱えながらも懸命に戦う仲間を認め、その努力は必ず実を結ぶと語る姿勢。限界に近い状態でも準備を始めた投手の決意に胸を動かされ、それに応えようとする打者の覚悟。こうした心の



動きが重なり、組織全体の力を押し上げます。大切なのは、目立つ活躍だけを見るのではなく、**陰で支える姿に気づくこと**です。そして、**自分も誰かの支えになろうと決める**ことです。学校生活でも同じです。仲間の挑戦を励まし、困難に寄り添う行動が、集団の空気を変えます。

他者のために動いた経験は、自分の自信と誇りを育てます。その積み重ねが、未来の大きな成果へとつながっていきます。

【今回の学び】⇒影の努力に気づける人が、本当の強さを持つ！

仲間を思う心が奇跡を呼ぶ

頂点を決める大舞台で、何が勝敗を分けたのでしようか。二連覇を果たしたロサンゼルス・ドジャースの原動力は、「**仲間を思い抜く心**」でした。

フレディ・フリーマンは、第七戦で同点弾を放ったミゲル・ロハスについて、「**けがを抱えながら戦う姿勢は必ず報われる**」と語りました。その言葉には、仲間の苦しみを知り、信じ続ける温かな眼差しが宿っています。

さらに彼は、前日に力を使い切った山本由伸が再び準備を始めた姿に胸を打たれ、「**その覚悟に応えたかった**」と振り返りました。

誰かの覚悟が、別の誰かの闘志に火をつける。この連鎖こそが「**献身**」の力です。自分の評価よりも、仲間のために力を尽くす姿は、見る者の心を震わせます。

あなたは仲間のために、どれだけ本気になれますか。誰かのために動くとき、人は想像以上の力を出せます。**利他の心こそ、眠っている可能性を解き放つ鍵**なのです。

今日の言霊：思いやりが力に

★問一（語彙） 本文中の「献身」の意味として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自分の利益を第一に考えること
- イ 他人のために力を尽くすこと
- ウ 安全な道を選ぶこと
- エ 失敗を恐れて行動しないこと

★問二（選択） フレディ・フリーマンの言葉から読み取れる姿勢として最も適切なものを選びなさい。

- ア 個人の記録を最優先する姿勢
- イ 仲間の努力を信じ続ける姿勢
- ウ 勝敗に無関心な態度
- エ 監督の評価だけを重視する姿勢

★問三（選択） 山本由伸の姿が周囲に与えた影響として最も適切なものを選びなさい。

- ア 仲間の闘志を弱めた
- イ 試合をあきらめさせた
- ウ 仲間の覚悟を呼び起こした
- エ 評価を下げる結果になった

★問四（選択） 本文の主張として最も適切なものを選びなさい。

- ア 勝利は才能や運で決まる
- イ 評価を高めることが最大の目標である
- ウ 利他の心が人の可能性を引き出す
- エ 努力より結果が重要である

★問五（記述） 「思いやりが力に」とはどういう意味か。本文を踏まえて説明しなさい。（40字程度）

模範解答・解説

★問一 模範解答 イ

○解説㊦ 「献身」は自分より他者を優先し力を尽くすこと。本文では仲間のために戦う姿勢を示す語である。

★問二 模範解答 イ

○解説㊦ けがを抱える仲間を信じ報われると語る姿勢から、仲間への信頼と敬意が読み取れる。

★問三 模範解答 ウ

○解説㊦ 覚悟に込めたいという言葉から、山本の姿勢が仲間の闘志を高めたとわかる。

★問四 模範解答 ウ

○解説㊦ 利他の心が眠る可能性を解き放つと結論づけている。主題は思いやりと力の関係である。

★問五(記述) 模範解答(例)

仲間を思い行動することで、想像以上の力が生まれるということ。

○解説㊦ 誰かのために動く力が湧くと述べる。思いやりが能力を引き出す点をまとめる問題。

勝利の背景には、互いを深く信じ合う関係があります。

けがを抱えながらも懸命に戦う仲間を認め、その努力は必ず実を結ぶと語る姿勢。限界に近い状態でも準備を始めた投手の決意に胸を動かされ、それに応えようとする打者の覚悟。こうした心の



動きが重なり、組織全体の力を押し上げます。大切なのは、目立つ活躍だけを見るのではなく、陰で支える姿に気づくことです。そして、自分も誰かの支えになろうと決めることです。学校生活でも同じです。仲間の挑戦を励まし、困難に寄り添う行動が、集団の空気を変えます。

他者のために動いた経験は、自分の自信と誇りを育てます。その積み重ねが、未来の大きな成果へとつながっていきます。

【今回の学び】⇒影の努力に気づける人が、本当の強さを持つ！